

下山地区データ (1月1日現在)		
人口	4,209 人	(-75)
男性	2,088 人	(-44)
女性	2,121 人	(-31)
世帯数	1,661 世帯	(0)

※ () は、前年同月比

令和4年2月15日発行



新たな門出 令和4年新成人を祝う会



1月9日(日)、下山地区コミュニティ会議が下山基幹集落センターで「令和4年新成人を祝う会」を開催しました。36人の新成人が出席し、スーツや振袖を身に纏い、華やかな式典となりました。今回も関係者の検温、マスク着用や3密の回避など新型コロナウイルス感染症対策を徹底しました。新成人代表の澤井朝香さん、川合妃沙羅さんが「下山での出会いへの感謝を忘れずに、日々努力し、未来へ向かって進み続ける」と誓いのことばを述べました。



しもやま支所だよりは、豊田市ホームページからも見ることが出来ます。 <http://www.city.toyota.aichi.jp/>





「山村条例」ができました

山村地域は、豊かな自然環境のほか、自然と共生する暮らしの中から生まれた歴史や文化、心の充足感や安心感など、次の世代に引き継いでいくべき様々な魅力や価値がたくさんあります。

豊田市では、こうした山村の魅力や価値を、市全体で広く共有するとともに、共働による活力ある山村地域づくりと都市と山村の共生によるまちづくりを推進するため「豊田市山村地域の持続的発展及び都市と山村の共生に関する条例（略称：山村条例）」を制定（令和4年1月1日施行）しました。

○条例の3つのポイント

1 広く市民に共有すべき「山村の価値」を定義

森林、田畑、川などの豊かな自然環境のほか、山村での暮らしの営みや感じられる幸せなどを広く市民に共有すべき「山村の価値」として定義しています。

2 市の責務、市民・山村住民・事業者等の役割を明記

市は、市民・山村住民・事業者のみなさんと共に、山村地域の持続的発展と都市と山村の共生に関する施策を推進していきます。

3 施策の総合的な推進体制を規定

条例が示す内容を総合的かつ計画的に推進していくために、令和2年度に策定した「おいでん・さんそんプラン」に沿って、施策を推進していきます。



行政相談員による困りごと相談のご案内

予約不要で参加できる無料の行政困りごと相談を開催します。お気軽にお越しください。

日時：令和4年3月16日（水）午後1時30分から午後3時30分まで

備考：新型コロナウイルス感染症拡大の状況によって中止になる場合がございます。



新型コロナウイルスワクチン3回目接種に関するお知らせ

新型コロナウイルスワクチン3回目接種の接種券を順次発送しています。予約方法などの詳細は、豊田市のホームページをご確認ください。

接種対象者：2回目接種から8か月以上経過した18歳以上の市民

発送時期：2回目接種をした日から6か月が経過する前に届くよう順次発送

接種方法：個別接種または集団接種



▲3回目接種について

【問合せ】新型コロナウイルスワクチン接種コールセンター 電話：0565-34-6975



第53回豊田おいでんまつりで花火を打ち上げ



▲下山運動場の花火の様子

1月8日(土)、第53回豊田おいでんまつりを開催しました。

市内11か所で一斉に花火を打ち上げ、おいでん踊りの懐かしい映像や打ち上げ花火の中継などスペシャル番組を放送しました。

下山地区では、下山運動場から色とりどりの花火が夜空を彩りました。

スペシャル番組の内容は、豊田市公式Youtubeチャンネルからご覧いただけます。



▲豊田市公式 Youtube チャンネル



「猟師さんの話を聞く会」で野生生物の実態などを学習

下山中学校が1月21日(金)に地域学習の一環で、猟師兼山里カフェ Mui オーナー清水潤子さんを講師に招き、この会を開催しました。

野生生物による農作物・森林の被害や、猟師になりカフェをオープンするまでの経緯を伺いました。また、講演の中でNPO法人下山わくわくファームの取組も紹介されていました。

生徒からは「ジビエは、肉が硬くて食べにくいイメージだったが、食べてみたくなった」「動物だけが悪いと思っていたが、人間も責任があると聞き、考えを改める機会になった」という声があり、自然との共生や命の大切さを学ぶ機会となりました。



▲講演の様子



農畜産物処理加工施設の利用希望者を募集

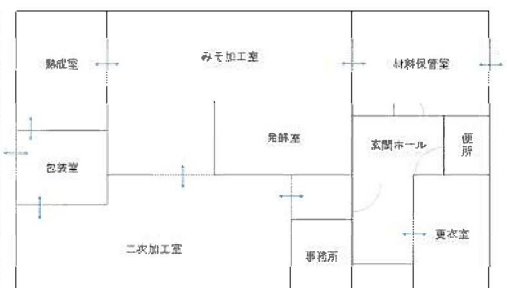
しもやま味噌加工所がある農畜産物処理加工施設の令和5年4月以降の利用者を募集します。施設の詳細は、下山支所地域振興担当(表紙下段参照)へお問い合わせください。

住所：大沼町浜松55、56

概要：平成6年建築、木造平屋建



▲外観



▲間取り図(参考)



森の恵みで心も体も暖まろう！炭焼き体験会

1月29日（土）、羽布まちづくり委員会・景観チームが羽布町にある森若蛙の会の炭窯で炭焼き体験会を開催しました。

参加者21人、地元スタッフ10人で薪割りや炭窯へ割った木を入れるなどの作業を体験し、昼食には、ミネアサヒで作った五平餅と鹿汁を食べました。

このイベントは、地域と多様に関わる「関係人口」づくりを目的に羽布まちづくり委員会がおいでん・さんそんセンターと共同で開催したものです。



▲薪割りの様子



▲炭窯へ割った木を入れる様子



令和3年度わくわく事業補助金の初交付団体の活動を紹介

団体名：阿蔵組

事業名：須賀神社所蔵 農村舞台襖絵修理



この事業は、江戸時代末期から受け継がれる「三番叟（さんばそう）」の継承のため、舞台で使用する襖絵の修繕を行います。

また、襖絵の修繕を愛知県立芸術大学に依頼し、学生と地域住民が協力することで、この事業に関わる学生が阿蔵町の歴史を発掘し、伝統文化に触れることで交流を図り、地域の活性化につなげます。

団体名：花沢五組支障木整備隊

事業名：花沢5組地域内 支障木整備



この団体は、地域住民の安心安全な生活環境の確保と住みよい環境づくり景観向上活動を事業目的としてわくわく事業に申請しました。

団地内の危険な支障木の問題に対して、地域住民が立ち上がり、わくわく事業を活用して問題解決に取り組みます。

具体的には、今年度から3年かけて、花沢5組内の支障木の撤去、草木の剪定、整備を行います。

下山交流館 まなびのひろば

豊田市下山交流館

開館時間：午前9時～午後9時
(図書の貸出・返却は午後8時まで)

休館日：月曜日(祝日、振替休日を除く)・年末年始

連絡先：TEL0565-91-1650/FAX0565-91-1030

ホームページ：<http://ph-toyota.jp/guide/shimoyama/>

指定管理者：公益財団法人 豊田市文化振興財団



講座報告 下山交流館&かれんママ合同企画 リトミックで楽しくクリスマス

12月15日(水)

参加人数 12組



講師は大沼町在住の柴田広子さん。
ピアノのリズムに合わせて体を動かしたりクリスマスツリーを作るなど、親子でリトミックを楽しみました。かれんママによる絵本の読み聞かせ♪そしてサンタとトナカイが登場!



プレゼントをもらいました♪

<参加者の感想>

- ・初めてのリトミックですが楽しく体を動かしていました。
- ・子どもが人見知りなのに楽しんでいて、びっくりしました。
- ・親子で楽しみました。また参加したいです。



回びー展示

「A & M 二人展」

2月1日(火)～2月26日(土)

川開綾子・村松美佐江の本格的な編み物作品と手作り小物♪

令和3年度出展紹介

杉澤周子 (布草履)



伊藤麻美 (がま口)



小川喜月 (アメリカンフットドラグ)



下山ラリーイベント
実行委員会



西尾良枝 (ポビネース)



古布の会 (古布小物)



鈴木雅弥 (木花器)



よつば会/次井みな子
(パッチワーク小物)



鈴木滝子 (はがき絵)



宮崎エリカ
(カルトナーージュ)



★令和4年度 出展者募集中!★

下山囲碁大会・将棋大会開催! 1月8日(土)、15日(土) 下山囲碁・将棋クラブ

囲碁大会優勝



和出孝之

グループの雰囲気
が良く、80代ですが
優勝し、こうして楽しん
でいます。皆さんも是非
一緒にいかがですか?



対局の様子

たくさんの人
と対局したいので
興味のある方は、
是非遊びに来て
ください!

将棋大会優勝



高木龍二

昔々大江山の山に狐の窟がありました

狐の窟に可憐な

お茶屋と、お茶屋と、お茶屋と

ある日、お茶屋の主人が、お茶を淹れようとして、お茶の釜に薪をくわいてお茶を淹れようとした。お茶を淹れようとしたお茶屋の主人は、お茶を淹れようとして、お茶の釜に薪をくわいてお茶を淹れようとした。

お茶を淹れようとしたお茶屋の主人は、お茶を淹れようとして、お茶の釜に薪をくわいてお茶を淹れようとした。お茶を淹れようとしたお茶屋の主人は、お茶を淹れようとして、お茶の釜に薪をくわいてお茶を淹れようとした。



お茶を淹れようとしたお茶屋の主人は、お茶を淹れようとして、お茶の釜に薪をくわいてお茶を淹れようとした。お茶を淹れようとしたお茶屋の主人は、お茶を淹れようとして、お茶の釜に薪をくわいてお茶を淹れようとした。

